

「知財創造教育」の内容

内閣府 知的財産戦略推進事務局

「知財創造教育」とは

「これから求められること」に応えるために必要な能力や態度を育成する。

新しい創造をする
(「いいな」を思い描き実現する)

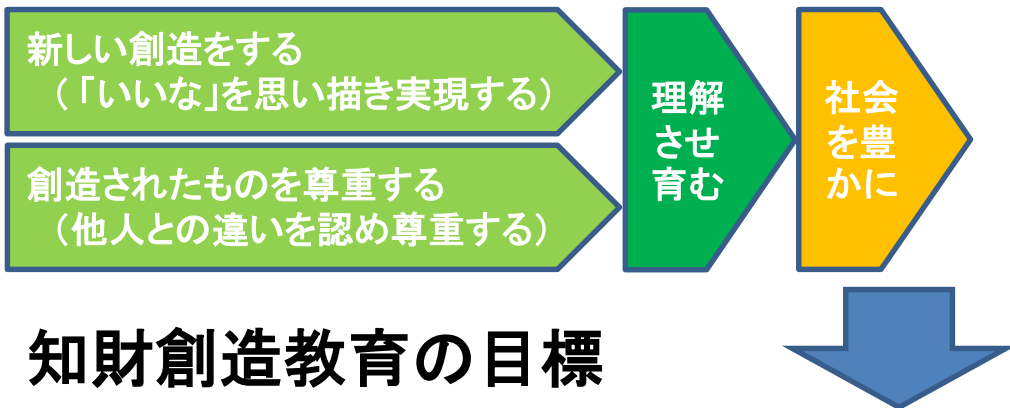
創造されたものを尊重する
(他人との違いを認め尊重する)

理解
させ
育む

社会
を豊
かに

「知財創造教育」の目標

知財創造教育とは



知財創造教育の目標

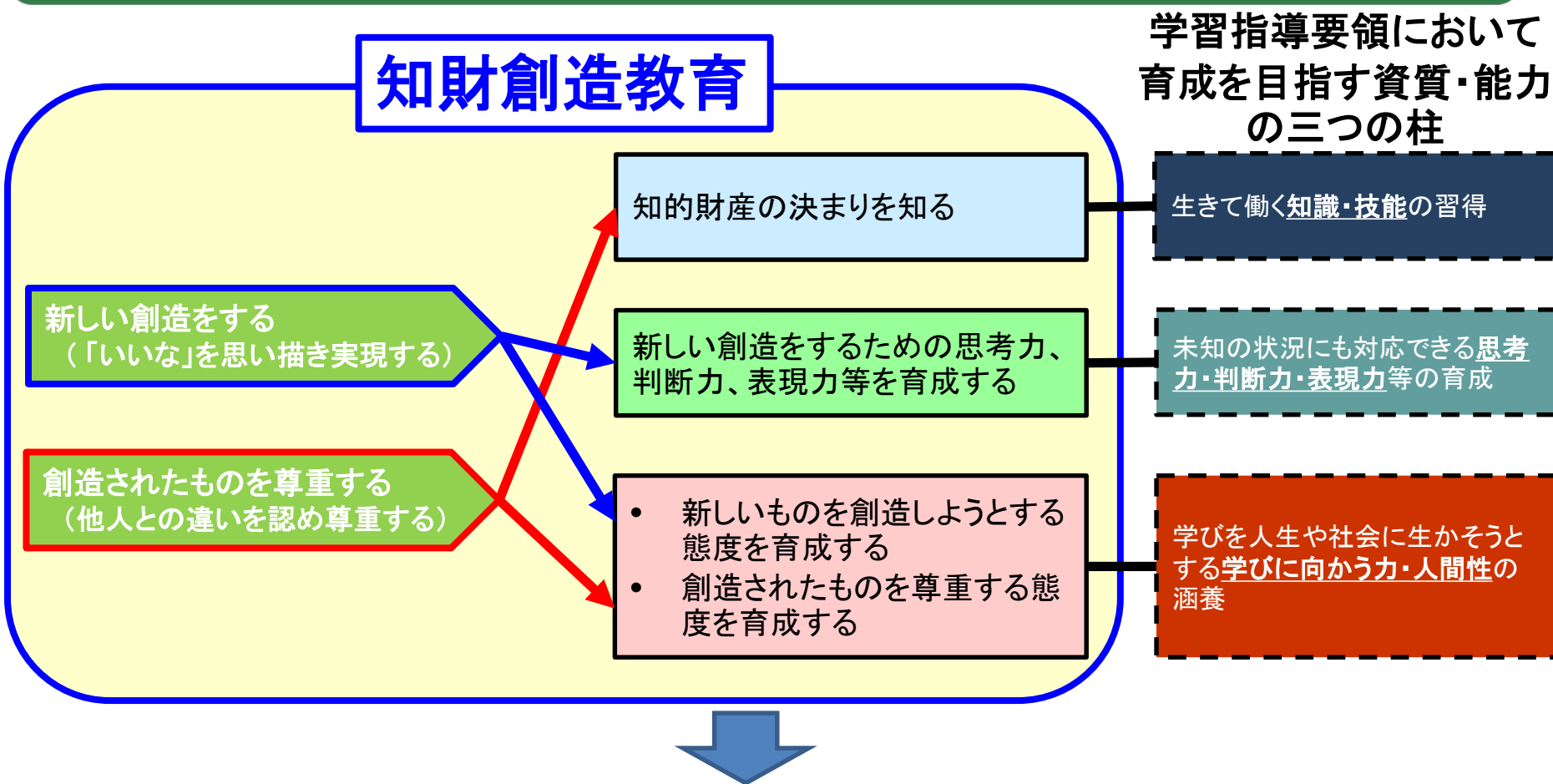
<小学校>

創造されたものによって社会が豊かになっていることに気付くことにより、創造されたものを尊重することの意義について理解を深め、楽しみながら自ら創造していこうとする態度を育成する。

<中学校>

自分たちの社会が様々な知的財産により豊かになっていることに気付くとともに、それらがどのように継承もしくは普及されてきたのかを知るにより、知的財産を保護したり活用したりする意義について理解を深め、楽しみながら自ら創造していこうとする態度を育成する。

「知財創造教育」と「学習指導要領の三つの柱」



●学習指導要領の各教科等において指導するものであり、新たな指導内容を追加的に導入するものではない。

(※ より発展的な内容を扱うことを妨げるものではない)

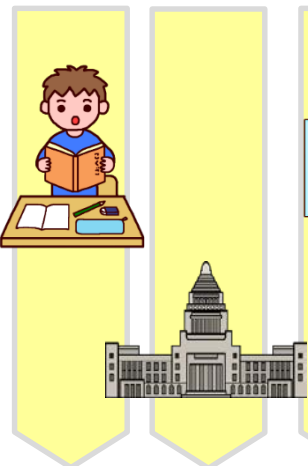
●各教科の目標を達成するために、知財創造教育を活用できる。

全ての教科等で創造性の育成を目指しています！

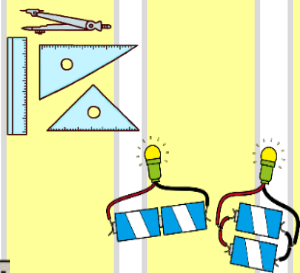
学習指導要領では全ての教科等において創造性の涵養が求められており、創造性の育成を目指す「知財創造教育」は全ての教科等を通じて行えます。

学習指導要領の各教科等

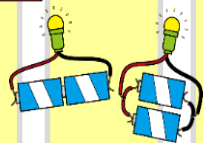
国語 社会



算数
数学



理科



生活



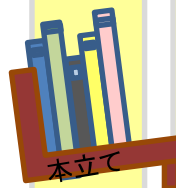
音楽



図画工作
美術



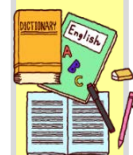
家庭
技術・家庭



体育
保健体育



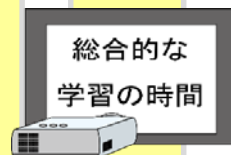
外国語活動
外国語



特別の教科
道徳



総合的な
学習の時間



特別活動



創 造 性

思考を深める教育の実践による効果

児童・生徒に対して、**様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行った**と回答した小中学校の方が、**全国学力・学習状況調査の「B問題(知識の活用力を問うもの)」の平均正答率が高い傾向**がみられた。なお、「A問題(知識を問うもの)」にも同様の傾向が見られた。

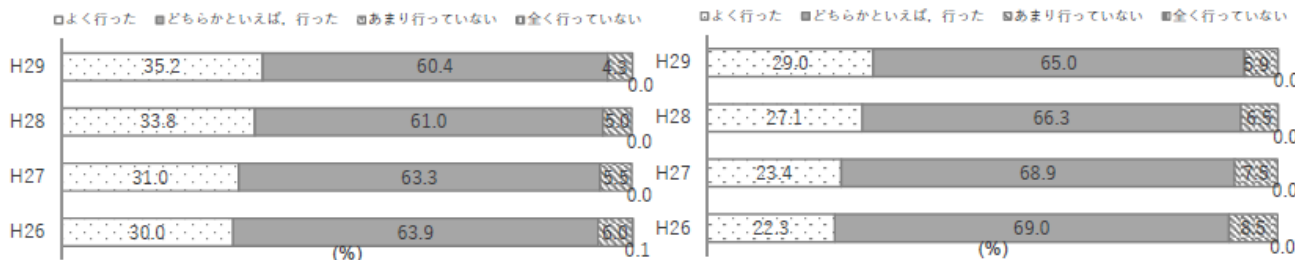
(知財創造教育は、全国学力・学習状況調査の正答率向上自体を目的とするものではありません。)

【学校質問紙】調査対象学年の児童[生徒]に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

小学校(国公私)

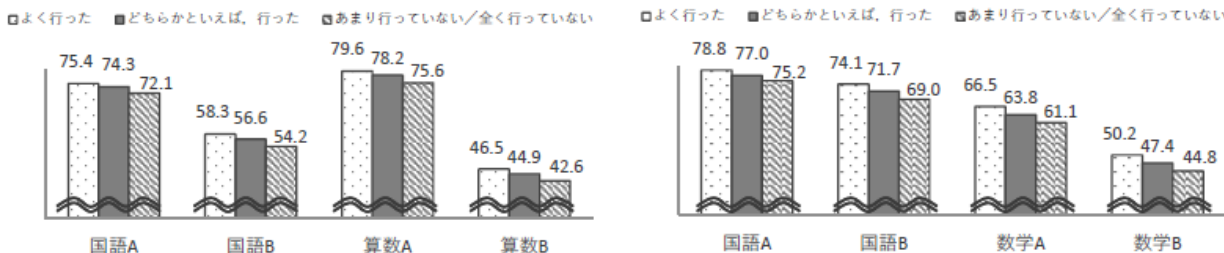
中学校(国公私)

回答割合



選択肢毎の平均正答率

※「全く行っていない」と回答した学校が100校未満のため、「あまり行っていない」と合算



「A問題」: 基礎的・基本的な知識・技能が**身に付いているか**どうかをみる問題

「B問題」: 基礎的・基本的な知識・技能を**活用することができるか**どうかをみる問題

**「新しい創造をする」ために
必要な能力の育み方**

「新しい創造をする」ために必要な能力

(1) 課題を見出し、どうすれば変えられるかを考えて実行する力

(2) 自分の思いや考えを文章・絵・音などで表現する力

(3) 将来を描き、夢を実行したり、社会を形成する力

発達段階に応じて教育

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方

(1) 課題を見出し、どうすれば変えられるかを考えて実行する力

① 従来品と改良品を比較して“違い”に気付き、どんな課題をどう解決したかを把握する。



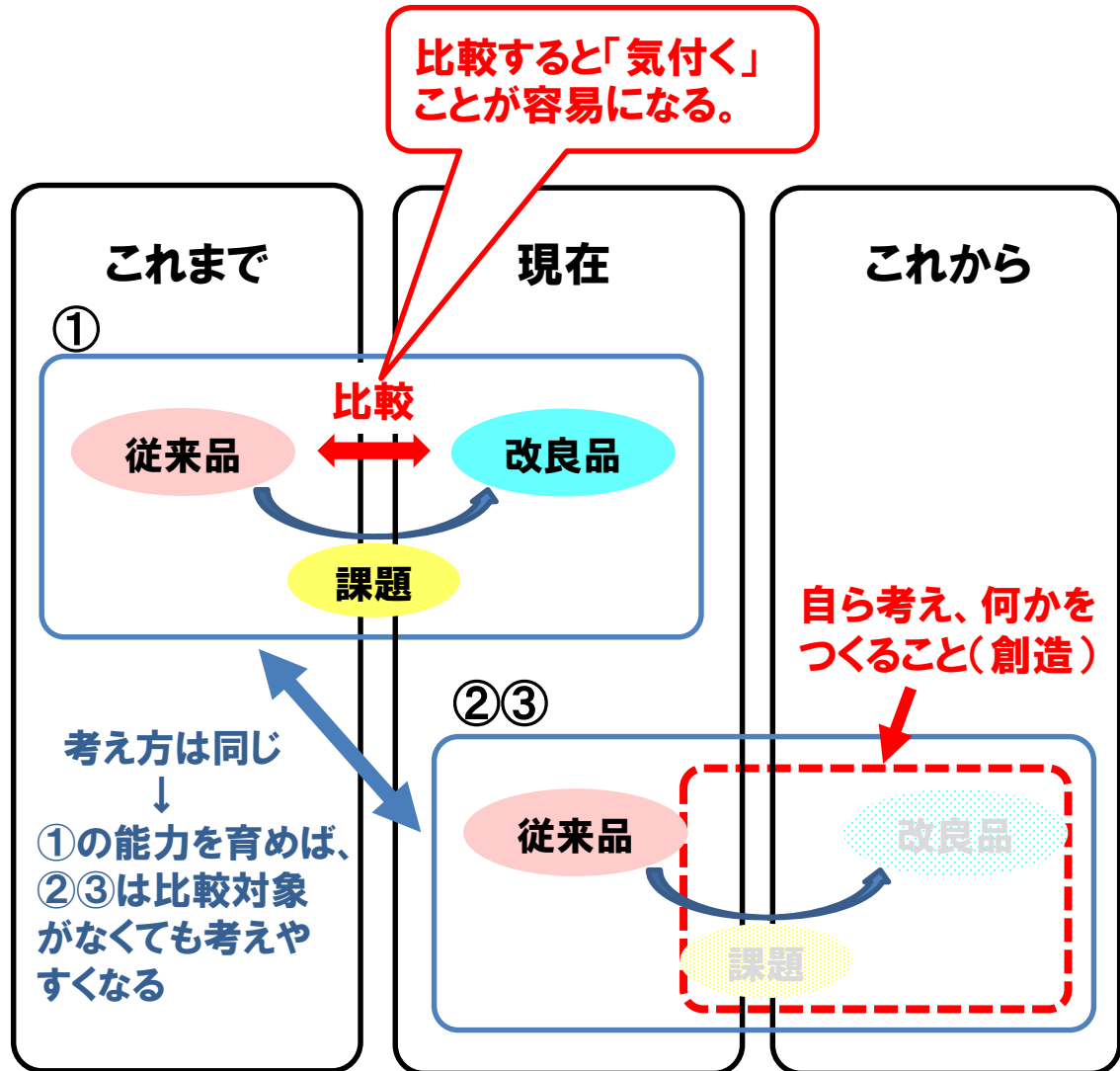
(発達段階に応じて)

② 与えられた課題から、どうすれば変えられるかを考えて実行する。



(発達段階に応じて)

③ 課題を見出し、どうすれば変えられるかを考えて実行する。



「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方

(2) 自分の思いや考えを文章・絵・音などで表現する力

皆の前で、自分の思いや考えを表現した文章・絵・音楽を発表することによって、子供同士刺激を受け合い、さらに、自分の思いや考えをより一層に深め、自主的な力を引き出す。

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方

(3) 将来を描き、夢を実行したり、社会・文化を形成する力

こうなったらいいなという思いを描き、どうすれば実現できるか考え、実行する。

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方
(1)～(3)に共通する育み方

◇認める、褒める◇

自分が人と“違う”アイデアを思いついたときや人と“違う”ものを作ったときに
友達から「すごいね！」と尊敬されたり、
先生から「いいねっ！よく思いついたね！」と
認められたり、褒められたりすると嬉しいし楽しい。
(子どもたちが持っているものを先生が引き出す)



尊敬されたり、認められたり、褒められたりすると自信になるし、また何か人と“違う”アイデアを考えたいと思うし、人と“違う”ものを作りたいと思う。

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方
(1)～(3)に共通する育み方

◇一緒につくる◇

3～4人のグループに分けて、あるテーマで何かをつくる
(=オープン・イノベーション)

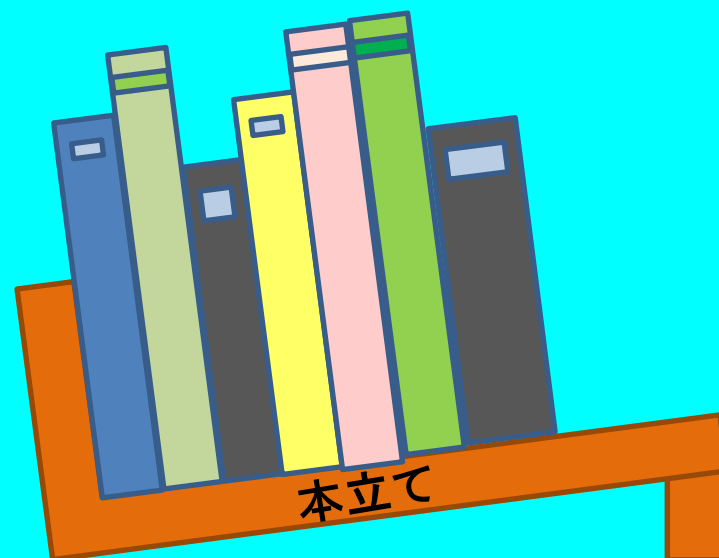
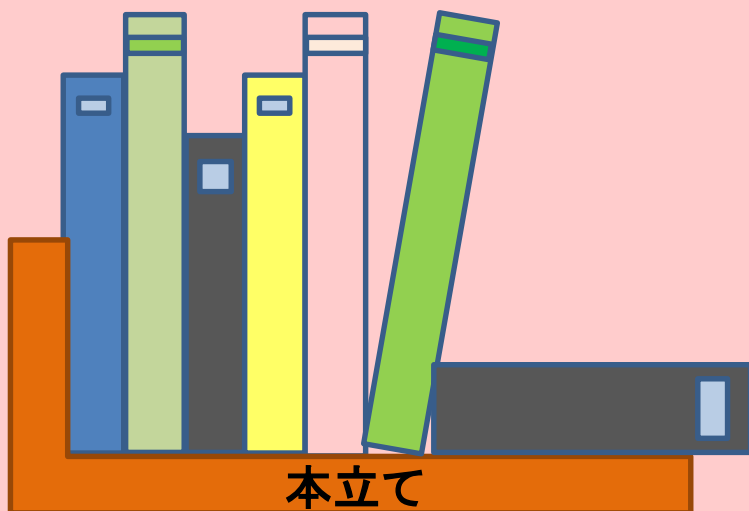
- 他の人の考え方から「気づき」を得る、触発される
- 自分の考えを伝えようとする過程で、自分の考えをより深く見て、本質的な部分を明確化できる
- 自分なりの得意分野を見出し、その中で役割を果たせることを体験し、自分がグループの中で役立っているという自信を持つ
- 考えの違いを意識し、試行錯誤の末、妥協もしながら解決手段を見つける
- 「一緒につくった」喜び、同胞意識を持つ
- 成果を他のグループにも発表し、新たな気づきへ結びつける
- 最終作品の中で、知財的なものをどう考えるかを自分のごととして意識する

**「新しい創造をする」ために
必要な能力の育み方
（事例集）**

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方（事例集）

（１）課題を見出し、どうすれば変えられるかを考えて実行する

◆技術・家庭科(技術分野)への適用◆



- 本立ての“違う”ところはどこか？（比較）
- これまでの本立てにはどんな課題があるか？
- “違う”ことによって、どんないいことがあるか？

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方（事例集）

（１）課題を見出し、どうすれば変えられるかを考えて実行する

◆社会科への適用◆



- 洗濯の仕方の“違う”ところはどこか？（比較）
- これまでの洗濯方法にはどんな課題があるか？
- “違う”ことによって、どんないいことがあるのか？

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方（事例集）

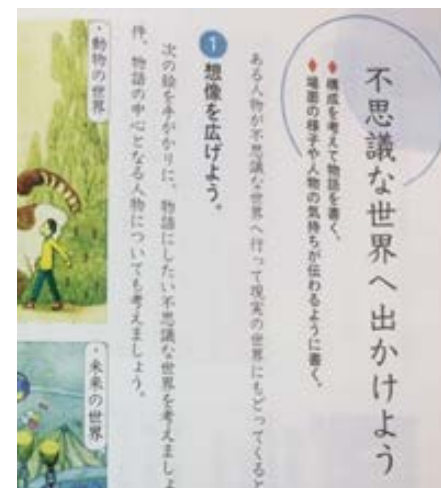
（2）自分の思いや考えを文章・絵・音などで表現する

◆国語科への適用◆

絵を手がかりに自分オリジナルの物語を作る。

「不思議な世界に出かける」とのテーマのもと、
絵を手がかりに想像力を働かせ、自分の考え
や思いを文章で表現する。

課題を踏まえて、人との“違い”を
出すことが大切です。



注)写真は、小学校国語科5年
(光村図書)から抜粋

皆の前で、自分の思いや考えを表現した文章を発表すること
により、子供同士刺激を受け合い、自主的な力を引き出す。

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方（事例集）

（２）自分の思いや考えを文章・絵・音などで表現する力

◆ 図画工作科への適用 ◆

「夏の思い出」をスイカを使って描いてみよう。



課題を踏まえて、
人との“違い”を
出すことが大切
です。

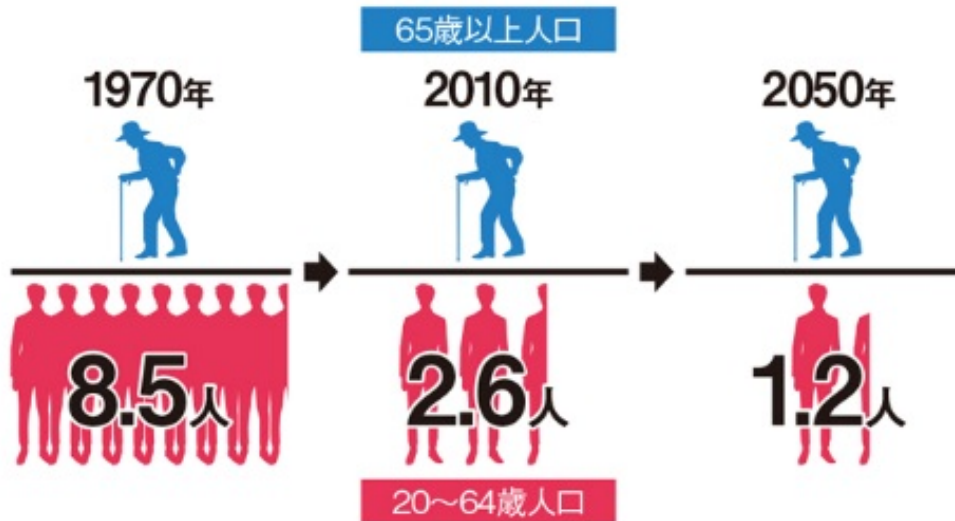
皆の前で、自分の思いや考えを表現した絵を発表することにより、子供同士刺激を受け合い、自主的な力を引き出す。

「新しい創造をする」ために必要な能力の育み方（事例集）

（3）将来を描き、夢を実行したり、社会・文化を形成する

◆社会科への適用◆

高齢者1人を支える現役世代の人数



総務省「国勢調査」、社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月推計)」、
(出生中位・死亡中位)、厚生労働省「人口動態統計」

- 高齢化率が高くなると、どんな問題が生じるのか？
（1.将来の年金少、2.社会保障費増、3.若者の負担増、4.介護問題）
- そのような問題を解消させるには、どんな社会システムが必要か？

目の前にある課題だけにこだわるのではなく、こうなったらいいなという
思いを描き、どうすれば実現できるか考え、実行する。

**「創造されたものを尊重する」
ために必要な態度の育み方**

「創造されたものを尊重する」ために 必要な態度の育み方

・社会を豊かにしている創造物が、先人が生み出したものや発想をもとにしていることに気付かせる。

・地域の伝統文化や芸能には、先人たちの知恵や創造物があり、また、それを承継してきた人がいることに気付かせる。

・創造されたものを尊重した子どもを褒めることで、褒められて嬉しいな、尊重することはいいことだなという思いを感じさせる。

・創造物が尊重されることで、新たな創作をする意欲が出てくることに気付かせる。

・創造物を尊重すれば、その創作物をもとに新たな創作をすることは良いことであることに気付かせる。

**「創造されたものを尊重する」
ために必要な態度の育み方
（事例集）**

「創造されたものを尊重する」ために必要な態度の育み方（事例集） （1）知的財産のきまりを知る

◆国語、社会～小学校5年～◆

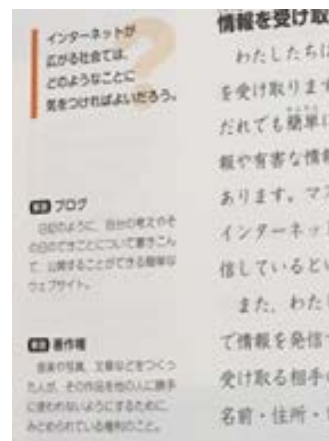
既存の教科書の中に、すでに「知的財産のきまりを知る」ことについていくつか記載されており、これらをもとに知財創造教育の指導を進めることができる。

[コラム] 著作権についての記載

[コラム] 著作権についての記載



注)写真は、小学校国語科5年(光村図書)から抜粋



注)写真は、小学校社会科5年(教育出版)から抜粋